

令和元年度 台湾教育旅行受入調整委託業務
企画提案コンペ 質問及び回答表

番号	質問受付日	令和元年 5 月 22 日
1	回 答 日	令和元年 5 月 24 日

質問及び回答

【質問 1】

仕様書 4（2）に関して、交流受入が可能な県内の学校、体験宿泊施設及び視察や体験が可能な施設等についてのご提案が必要との解釈でしょうか？

それとも、市町及び関係団体から推薦のある受入可能な学校、体験宿泊施設及び視察や体験が可能な施設等について、協議・調整、情報整理を行うとの解釈でしょうか？

【回答 1】

後者の内容は必須です。一方で、受託者事業者が新たに受入可能な施設等を開拓し、情報として整理することも排除していませんので、可能であればご提案ください。

【質問 2】

仕様書 4（5）に関して、本年度の台湾訪日教育旅行促進事業説明会は 3 回（6 月 1 1 日台北、6 月 1 2 日台中、6 月 1 3 日高雄）開催され、4 月 2 6 日申込締切済みですが、通訳が必要なのは何回でしょうか？

また、三重からの台湾までの渡航費用、現地滞在費用は今回の費用とは別との解釈でよろしかったでしょうか？

【回答 2】

台北、台中、高雄の全てに参加しますので、通訳が必要なのは 3 回です。

また、各説明会は午後に行われます。午前中は独自で学校訪問等のアポイントを入れますので、こちらにも同行、通訳をお願いします。

仕様書 4（1）に記載したとおり、台湾に窓口を設置してもらうことを想定しています。よって、6 月の出張で三重県から台湾までの渡航費用は想定していません。（台湾窓口の方のみ来ていただければ結構です。台湾窓口の方の旅費は、本委託業務に含みます。）

